

| 開講学科 | 総合デザイン学科 | 前橋工科大学 シラバス | | | |
|----------------|--|-------------|-------|-------|----|
| 科目名 | 地理学 | 標準対象年次 | 選択/必修 | 科目コード | |
| | | | | | |
| 担当教員 | 河野 忠 | 単位数 | 学期 | 曜日 | 時限 |
| | | | | 火 | 6 |
| 授業の教育目的・目標 | 本講義では、地理学的な視点から様々な「水」の存在条件を明らかにする。人類は文明を持って以来、様々な形で「水」を利用してきたが、日本をはじめ世界各地には多様な性質を持った「水」や利用方法がみられる。なぜ、多様な「水」が存在するのだろうか？。それは、各地域固有の自然環境、人文環境の反映に他ならない。地理学には様々な研究対象が存在する。本講義ではこのような「水」および「名水」をつなぎ手として、「水」の性質や利用法を地理学的に考察する。また、歴史的にみた「水」にまつわる様々な技術、知識（洪水対策、灌漑、上下水道など）についても、発祥地の地理的条件をふまえながら講義する。 | | | | |
| 学科の学習・教育目標との関係 | 大学生として必要な地理学的な教養と水の水量、水質の観点から見た人間が生活する上での水環境に対する倫理観を身に付ける。 | | | | |
| キーワード | 水資源、水利用、名水、洪水、地形・地質、気候環境 | | | | |
| 授業の概要 | 水資源の現状と問題、歴史的な名水を用いた様々な水利用形態について、実例を用いて解説する。 | | | | |
| 授業の計画 | 第1回： イントロダクション —宇宙の水・地球の水・日本の水— 第2回： 水の性質に基づいた水利用 —水の比熱がもたらす生活への影響— 第3回： 火山島の水 —伊豆諸島にみる水不足と雨水利用— 第4回： サンゴ礁島の水 —南西諸島にみる悪水と水不足— 第5回： 地下ダム —干ばつに悩む宮古島の救世主— 第6回： エジプト文明の水 —ナイル川の恵みとナイロメータ— 第7回： メソポタミア文明の水と円形分水路 —灌漑用水の知恵袋— 第8回： インダス文明の水 —下水道文化の黎明— 第9回： 中国文明の水・ローマ文明の水 —洪水の克服と水道の文化— 第10回： 身近な水環境問題「内水氾濫」と「都市河川の氾濫」—洪水対策と水利用— 第11回： 雪の水資源的価値と雪国の生活 —雪と家屋のデザイン— 第12回： 貴重な水資源『名水』を地理学的に考える 第13回： 六角井戸に見る地下水利用の地理学 —名水と幾何学模様— 第14回： 秀吉にまつわる茶の湯水そして磨崖仏と名水 —歴史的人物と名水— 第15回： 京都における江戸時代の水環境 —名所図会による古水環境の復元— | | | | |
| 受講条件・関連科目 | | | | | |
| 授業方法 | パワーポイントを用いた講義形式で、毎回資料を配布する。 | | | | |
| テキスト・参考書 | 河野 忠(2018)：『名水学ことはじめ』, 昭和堂. | | | | |
| 成績評価 | ・試験 (90 %) ・レポート (%) ・その他 注意事項 (受講態度) | | | | |
| 履修上の注意 | 2/3 以上出席した受講生が期末試験を受験し、合格点に達した場合に評価する。なお、受講状況に応じて加点することがある。 | | | | |
| オフィスアワー | | | | | |